



marantz[®]

5 Disc CD Changer

CC4003

取扱説明書

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く



警告



●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



接触禁止

●雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



●本機に付属している電源コードのみ使用してください。他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。電流量などの違いにより火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

●風呂場や窓ぎわで雨などがかかるおそれのある所等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



●本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

●本機の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだり、水を入れないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本機の下敷にならないようにしてください。電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



- 表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみです。電源周波数は 50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- 本機の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があけてあります。次のような使い方はしないでください。
 - 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
 - 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - テープクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。
 - 本機の上に物を置く。
- 本機の上にもろよく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。
- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- エアコンの下に置かないでください。エアコンから水滴が滴下した場合、汚損・故障・火災・感電の原因となります。



- 本機の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- 本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

- 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。
- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所や湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所や振動のある所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 次のような異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
 - 窓を閉めきった自動車の中
 - 直射日光が当たる場所
 - 火や暖房器具など熱を発生する機器の近く
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。



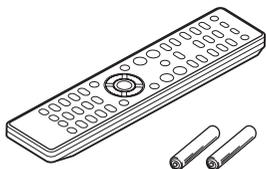
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

この度はマランツ製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品をご使用頂く前に、この取扱説明書をお読み頂き、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管してください。

■ 付属品の確認

ご使用前に下記の付属品がそろっていることをご確認ください。

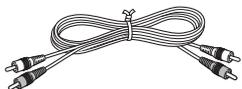
- リモコン.....1個



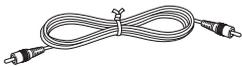
- 電池(単4).....2個

- 電源コード.....1本

- オーディオケーブル.....1本



- リモートケーブル.....1本



- 取扱説明書(本書).....1冊

- 保証書(箱に貼付).....1枚

目次

主な特長..... 2

ご使用前に..... 2

ご使用頂く電源電圧・周波数.....2
 設置についてのご注意.....2
 使用上の注意.....2
 輸送用ネジ取り外しに関する注意.....2
 リモコンの使用について.....3

各部の名称..... 4

前面.....4
 表示部.....4
 リモコン.....5
 後面.....6

基本接続..... 6

アンプとの接続.....6
 電源コードの接続.....6

基本操作..... 7

CDを再生する.....7
 再生中にディスクを交換する.....7
 聴きたい曲を再生する.....8
 聴きたい部分を再生する.....8

応用接続..... 8

デジタルオーディオ機器との接続.....8
 リモートコントロール端子.....8
 その他の接続.....9

応用操作..... 9

時間表示を切り替える.....9
 繰り返し聴く(リピート再生).....9
 順不同で曲を再生する(ランダム再生).....10
 曲を好きな順番で聴く(プログラム再生).....10
 表示窓の明るさ調整.....11
 リモコンコード設定.....12

困ったときは..... 13

全般.....13
 ディスクの再生.....13

その他..... 14

WMAの再生について.....14
 MP3の再生について.....14
 CD-R/CD-RWディスクの再生について.....14
 コピーコントロールCD(コピーガード付きCD)
 について.....14
 DualDiscの再生について.....14
 仕様.....15
 外観寸法図.....15
 ディスクの取り扱い方.....16
 お手入れ.....16
 セット内部の修理.....16
 ステレオ音のエチケッット.....16
 著作権について.....16
 保証・アフターサービスについて.....16

各部の名称

基本接続

基本操作

応用接続

応用操作

困ったときは

その他

主な特長

■ MP3、WMA ファイル再生に対応

CD-R や CD-RW ディスクに記録した MP3 ファイルや WMA ファイルを再生することができます。(14 ページ参照)

■ 再生中でもその他のディスク 4 枚が交換可能

■ ダイレクトディスクアクセスボタン

本体のフロントパネルとリモコン両方に 5 枚のディスクそれぞれにワンタッチで変更できるダイレクトディスクアクセスボタンを装備しました。

■ ランダム、プログラム、リピート等の多彩な再生モード

■ ボリューム付きヘッドホン端子

■ RS-232C コントロール端子、IR フラッシュャー入力装備

本機の操作と動作状態を送信する双方向に対応した RS-232C 端子を装備していますので、カスタムインストールによる集中制御が可能です。また、ラック内に設置した際などリモコンによるコントロールができない場合に、有線でのコントロールを実現するフラッシュャー入力も装備しました。

■ リモコンコードを 5 セット内蔵

本体とリモコン間でやりとりするリモコンコードの信号を 5 セット内蔵していますので、複数の本機を同じ場所に設置しても最大 5 台までそれぞれ独立してリモコン操作することができます。

■ アルミ製フロントパネル

高級感のあるヘアライン仕上げのアルミ製フロントパネルを採用しました。

ご使用の前に

ご使用頂く電源電圧・周波数

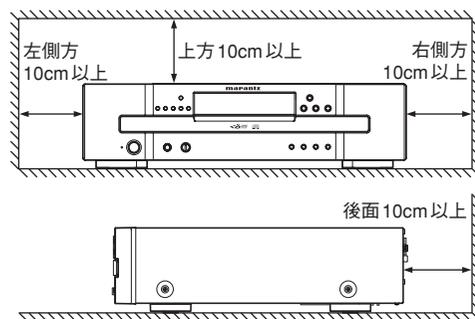
- 電源電圧は、交流 100V をご使用ください。
- 電源周波数は、50Hz 地域または 60Hz 地域でご使用できます。

設置についてのご注意

本機を末永くご使用頂くために、次のような場所には設置しないでください。

- 直射日光が当たる所
- 暖房器具など熱を発生する機器に近い所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- ほこりの多い所
- 振動のある所
- ぐらついた台の上や傾斜のある不安定な所
- 窓ぎわで雨などがかかる恐れのある所
- アンプ等の発熱の多い機器の上

放熱のため、本機を下図のとおり壁や他の機器等から離して設置してください。



■ 上に物をのせない

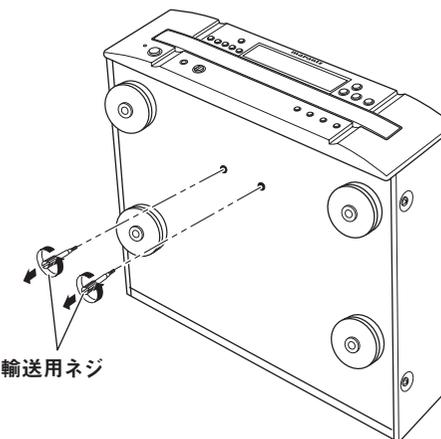
本機の上に物をのせて放熱を妨げると、事故や故障の原因になります。

使用上の注意

- 冬、暖房のきいた部屋の窓がくもり水滴がついたりします。この現象を結露といいます。本機は、光学レンズを使用していますので次のような場合に結露が起きることがあります。
 - －暖房開始直後の部屋
 - －湿気が多い部屋
 - －寒い所から、急に暖かい部屋に持ち込んだとき
 このようなときは、曲数の読み込みができず、プレーヤーが誤動作することがありますので、30分位待ってから使用してください。
- アンプ等の発熱の多いものの上に直接置いた場合、レーザー等の劣化の原因になります。
- 本機がチューナーやテレビに妨害を与えることがあります。このようなときは、チューナーやテレビとの距離を離して設置してください。
- アナログ式レコードに比べ非常にノイズが少なく、再生が始まるまでノイズは殆ど聴き取れません。アンプのボリュームを上げすぎますと他のオーディオ機器を破損することがありますので、ご注意ください。
- パソコン用の CD-ROM や、ゲーム CD、ビデオ CD、DVD (ビデオ/オーディオ)、DTS-CD などは再生できません。
- 市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損させる恐れがありますのでご使用にならないでください。
- ガラスドアつきのラックでご使用の場合、ガラスドアを閉めたまま、リモコンの ▲OPEN/CLOSE ボタンを押す、ディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- お子様やディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。
- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

輸送用ネジ取り外しに関する注意

本機の底部に赤色の輸送用ネジ 2 本がついていますが、本機を輸送するときに使用します。本機を使用する前に、ネジを反時計方向に回して取り外してください。輸送用ネジがまだ所定の位置にあるままで電源を入れた場合、電源コードをコンセントから抜き、輸送用ネジを取り外してください。ネジは、本機を輸送するときに必要になるため、保管しておいてください。本機を輸送する前に、ディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じ、スタンバイ状態にしてから電源コードをコンセントから抜いてください。次に、輸送用ネジを時計方向に回して取り付けください。ネジは確実に締めてください。



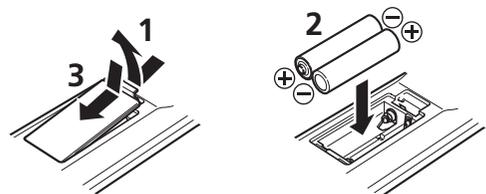
リモコンの使用について

リモコンに電池を入れる

付属のリモコンを最初にご使用になる前に、リモコンに電池を入れてください。

付属の電池はリモコンの動作確認用です。

1. 電池カバーをはずします。
2. 電池を極性表示(⊕プラスと⊖マイナス)に注意し、表示通りに正しく装着します。
3. 電池カバーを元に戻します。



電池の取り扱いについて

電池を誤って使用すると、液もれや破裂、腐食などにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

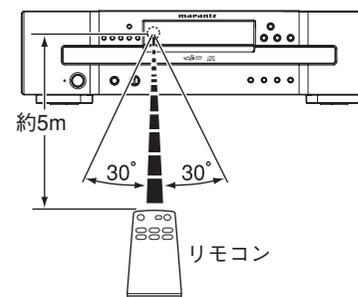
以下の注意をよく読んでご使用ください。

- 電池のプラス ⊕ とマイナス ⊖ の向きを機器の表示通り正しく入れてください。
- 電池は同じ形状のものでも電圧の異なるものがありますので、指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜたり、種類の違う電池を混ぜたりして使用しないでください。
- 電池は充電しないでください。
- 電池はお子様や幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまった場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 電池は金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。
- 長期間(1ヶ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出しておいてください。もし、電池が液もれを起こしたときは、素手で液にさわらずに、ケース内に付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。この際、液が皮膚や衣服に付着すると火傷する恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。誤って液が付着してしまった場合は、直ちに水道水で洗浄し医師の診断を受けてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。

- 不要になった電池を廃棄する場合は、テープなどで絶縁をし、お住まいの地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。
- 電池は火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車内、熱器具の近くなど高温の場所に置かないでください。

リモコンの動作範囲

リモコンによる本機の操作可能範囲は下図のとおりです。

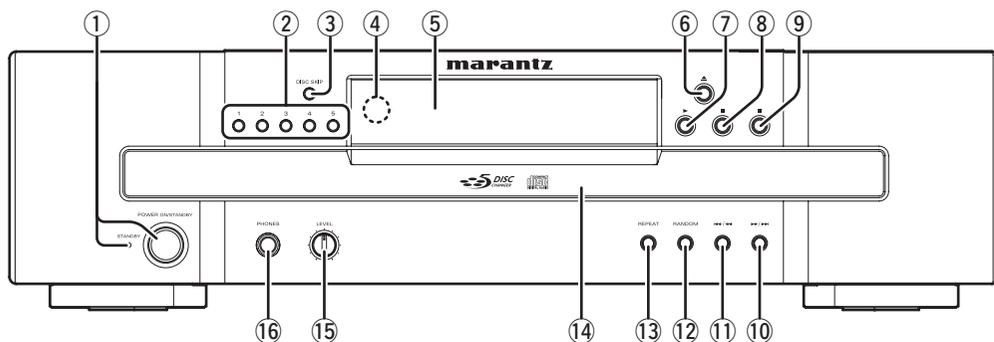


使用上の注意

- リモコンの受光部に直射日光やインバーター蛍光灯などの強い光を当てないでください。リモコンが操作できない場合があります。
- リモコンを操作すると、赤外線で作動する他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると操作できません。
- リモコンの上に物を置かないでください。ボタンが押し続けられた状態になり、電池が消耗してしまうことがあります。

各部の名称

前面



① POWER ON/STANDBY スイッチ STANDBY インジケータ

電源のON と STANDBY(待機状態)を切り替えます。
7 ページ参照

② 1-5 ボタン

演奏するディスクを選びます。

③ DISC SKIP ボタン

複数枚のディスクをトレイに置いたとき、このボタンを押すと、トレイを時計回りに回転させ再生するディスクを選べます。7 ページ参照

④ 赤外線受光部

リモコンからの赤外線コントロール信号を受光します。

⑤ 表示部

⑥ ▲ ボタン

7 ページ参照

⑦ ▶ ボタン

7 ページ参照

⑧ ■ ボタン

7 ページ参照

⑨ || ボタン

7 ページ参照

⑩ ▶▶/▶▶ ボタン

8 ページ参照

⑪ ◀◀/◀◀ ボタン

8 ページ参照

⑫ RANDOM ボタン

曲をランダム(順不同)に再生します。
10 ページ参照

⑬ REPEAT ボタン

曲またはディスクをリピートして再生します。
9 ページ参照

⑭ ディスクトレイ

ディスクをのせるトレイです。7 ページ参照

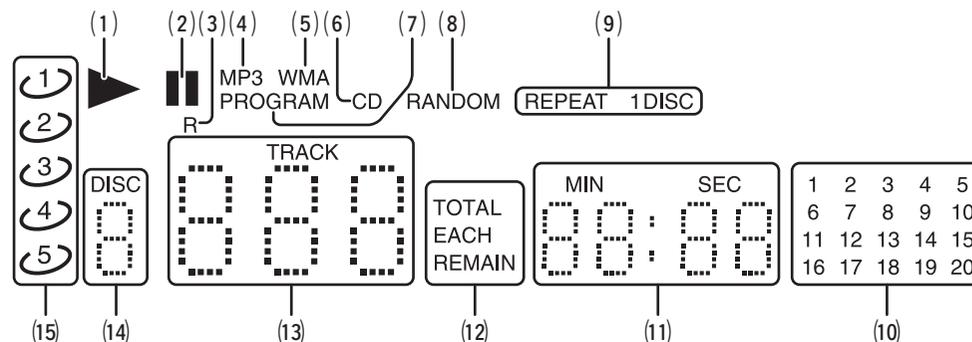
⑮ LEVEL つまみ

ヘッドホンの音量を調整するつまみです。右に回すとヘッドホンの音量が大きくなります。

⑯ PHONES 端子

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは標準プラグのものをご使用ください。

表示部



(1) ▶ インジケータ

再生時に点灯します。

(2) || インジケータ

一時停止時に点灯します。

(3) リモートコントロールインジケータ

リモコンを受信しているときに点灯します。

(4) MP3 インジケータ

MP3 ファイル再生時に点灯します。

(5) WMA インジケータ

WMA ファイル再生時に点灯します。

(6) CD インジケータ

オーディオ CD 再生時に点灯します。

(7) PROGRAM インジケータ

プログラム再生時に点灯します。

(8) RANDOM インジケータ

ランダム再生時に点灯します。

(9) REPEAT インジケータ

リピート再生時に点灯します。

(10) 1 ~ 20(曲番表示)

ディスクに記録されている曲番号、再生中の残りの曲番号、プログラム再生でプログラムされた曲番を表示します。

• 21曲目以上は表示できません。

(11) タイムインジケータ

時間の表示をおこないます。

(12) REMAIN インジケータ

トラック、ディスクの残り時間を表示しているときに点灯します。

(13) トラックナンバーインジケータ

選択している曲番を表示します。

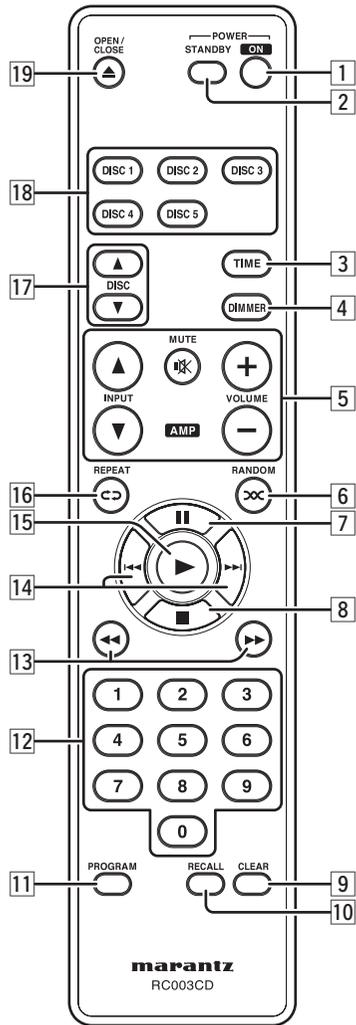
(14) ディスクナンバーインジケータ

選択しているディスク番号を表示します。

(15) ディスクインジケータ

トレイに入っているディスク番号を表示します。

リモコン

**1 ON ボタン**

スタンバイ状態でこのボタンを押すと電源が入ります。

7 ページ参照

2 STANDBY ボタン

電源が入っている状態でこのボタンを押すとスタンバイ状態になります。

3 TIME ボタン

時間表示を切り替えるときに押します。

9 ページ参照

4 DIMMER ボタン

表示窓の明るさを調整します。

11 ページ参照

**5 VOLUME +/- ボタン
INPUT▲/▼ ボタン
MUTE ボタン**

マランツ製プリメインアンプの対応機種のご操作をおこなうことができます。各機能については、プリメインアンプの取扱説明書をご覧ください。

6 RANDOM ボタン

曲をランダム(順不同)に再生します。

10 ページ参照

7 II ボタン

7 ページ参照

8 ■ ボタン

7 ページ参照

9 CLEAR ボタン

プログラムした曲を取り消すボタンです。

11 ページ参照

10 RECALL ボタン

プログラム中やプログラム停止中、プログラムした曲を確認するときに押します。11 ページ参照

11 PROGRAM ボタン

プログラム再生をするときに押します。

10 ページ参照

12 数字ボタン

8 ページ参照

13 ◀▶ ボタン

8 ページ参照

14 |◀▶| ボタン

8 ページ参照

15 ▶ ボタン

7 ページ参照

16 REPEAT ボタン

曲またはディスクをリピートして再生します。

9 ページ参照

17 DISC ▲、▼ ボタン

複数枚のディスクをトレイに置いたとき、このボタンを押すとトレイを回転させ再生するディスクを選びます。

7 ページ参照

18 DISC1-DISC5 ボタン

再生するディスクを選びます。

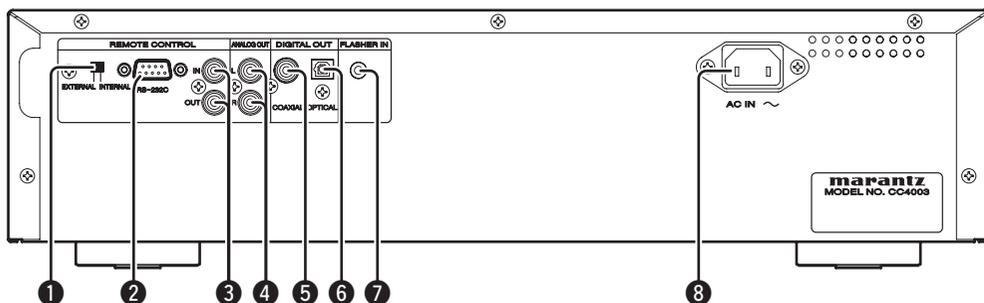
8、10 ページ参照

19 ▲ ボタン

7 ページ参照

各部の名称

後面



① EXTERNAL / INTERNAL スイッチ

スイッチはお買い上げ時 INTERNAL に設定されていて、本機に内蔵されているリモコン信号受光部を使用できます。

当社製品と付属の接続ケーブルでリモートコントロール端子に接続する場合は、スイッチを EXTERNAL に切り替えて使用します。

ご注意

本機を単独で使用する場合、スイッチが EXTERNAL に設定されていると、リモコンからの信号を受信できなくなります。

② RS-232C 外部コントロール端子

専門業者(カスタムインストーラー)用のコントロール端子です。

③ REMOTE CONTROL IN / OUT 端子

当社製品でリモートコントロール端子を装備した機種と、付属のリモート接続ケーブルで接続する端子です。アンプなどを中心としたシステムコントロールが可能となります。

④ ANALOG OUT 端子

再生中の音楽信号を出力する端子です。

⑤ DIGITAL AUDIO OUT COAXIAL 端子

再生中の音楽信号をデジタル出力する同軸出力端子です。

⑥ DIGITAL AUDIO OUT OPTICAL 端子

再生中の音楽信号をデジタル出力する光出力端子です。

⑦ FLASHER IN 端子

専門業者(カスタムインストーラー)用のコントロール端子です。キーパッドなどを用いて各部屋から機器をコントロールする際に使用します。

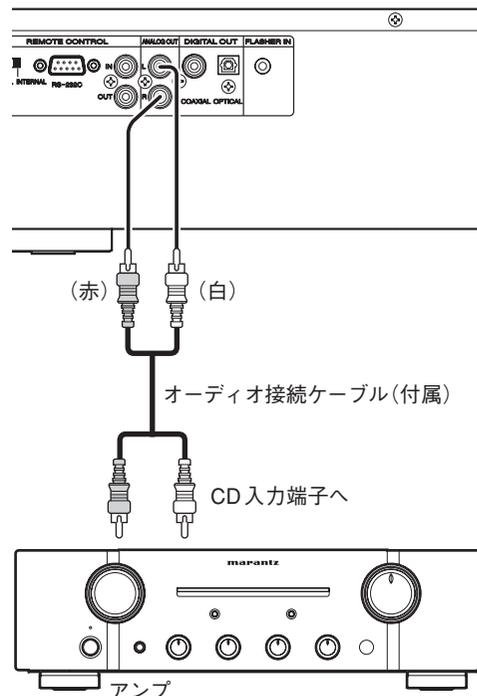
⑧ 電源コード接続端子

付属の電源コードを使用して、ご家庭の電源コンセントに接続してください。

万一の事故防止のため、本機から電源コードがはずせるように配置してください。

基本接続

アンプとの接続

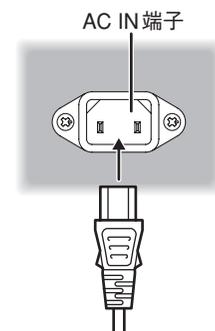


ご注意

- 全ての接続が完全に終わるまで、本機や他の機器の電源コードを電源コンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルのプラグは確実に接続端子に挿入してください。不完全な接続は、雑音の原因となります。
- L(左)チャンネルとR(右)チャンネルを正しく接続してください。
- 入力と出力は正しく接続してください。
- 本機と接続する機器については、機器の取扱説明書を参照してください。
- 接続したケーブルを電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音が発生することがあります。
- アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。

電源コードの接続

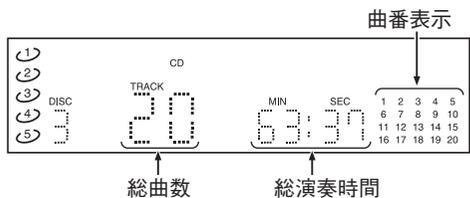
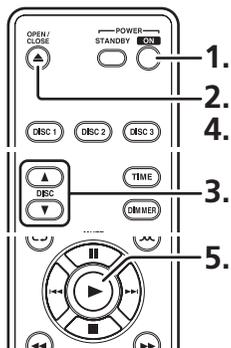
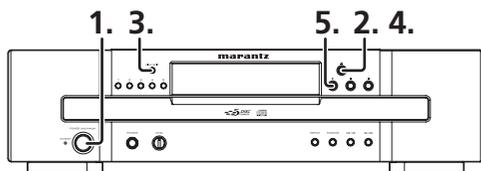
1. 付属の電源コードを本機の後面の AC IN 端子に差し込んでください。



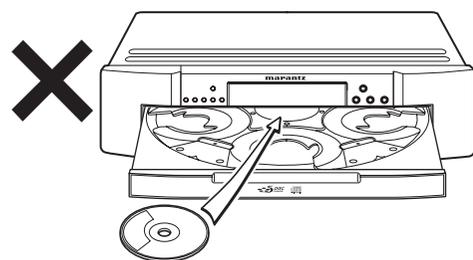
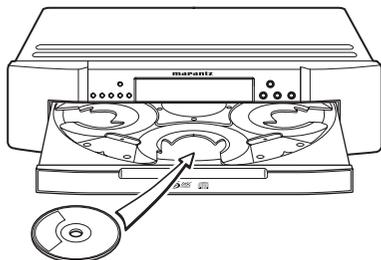
2. 電源プラグをコンセントに差し込んでください。
3. 接続したアンプ等のオーディオ機器の電源スイッチを入れてください。その際アンプ等のセレクターを本機と接続した入力に選択してください。

基本操作

CDを再生する



1. 本機またはリモコンの **POWER** ボタンを押し電源を入れます。
2. 本機またはリモコンの **▲** ボタンを押して、ディスクトレイを出します。ディスクの端を持ってトレイの上に置いてください。



- ディスクの記録面 (光沢のある面) には触れないでください。
 - シングルCD (8cm) はトレイの内側の円内に置いてください。
3. 複数枚のディスクをセットする場合は、本機の **DISC SKIP** ボタンまたはリモコンの **DISC ▲**、**▼** ボタンを押します。トレイ内のターンテーブルが回転しますので1枚ずつ順にセットしてください。
 4. 本機またはリモコンの **▲** ボタンを押してディスクトレイを閉じます。
 5. 本機またはリモコンの **▶** ボタンを押すと、1曲目から再生が始まります。
 - このとき、「▶」表示が点灯します。

(例) ディスク2から再生を開始した場合

ディスク2 / 1曲目 → …… → 最後の曲
→ ディスク3 / 1曲目 → …… → 最後の曲
→ ディスク4 / 1曲目 → …… → 最後の曲
→ ディスク5 / 1曲目 → …… → 最後の曲
→ 停止

ご注意

- ディスクは各トレイに正しく置いてください。正しく置かれていないと、操作できず、ディスクが破損する恐れがあります。
- トレイを閉じるとき、指をはさまないように注意してください。もし、指をはさんでしまったときは、**▲** ボタンを押して、トレイを開いてください。
- ディスクを矢印の様に差し込まないでください。

- トレイにディスク以外の媒体を置かないでください。
- 各トレイ2枚以上のディスクを重ねて置かないでください。
- トレイを無理やり開閉しないでください。開閉するときは必ず **▲** ボタンを押してください。
- トレイが開いて回っているとき、触れたり、指で止めたりしないでください。

再生を一時停止する

本機またはリモコンの **⏸** ボタンを押すと、再生が一時停止します。

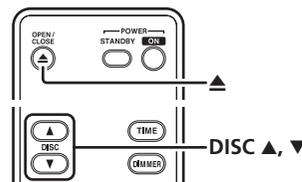
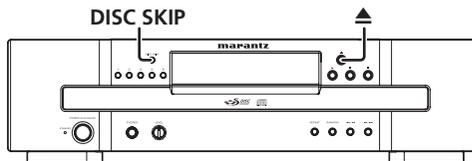
- このとき、「⏸」表示が点灯します。
- 再生を再開するには、本機またはリモコンの **▶** ボタンを押します。
- 一時停止状態で本機またはリモコンの **⏸** ボタンを再び押しても再生を再開できます。

再生を停止する

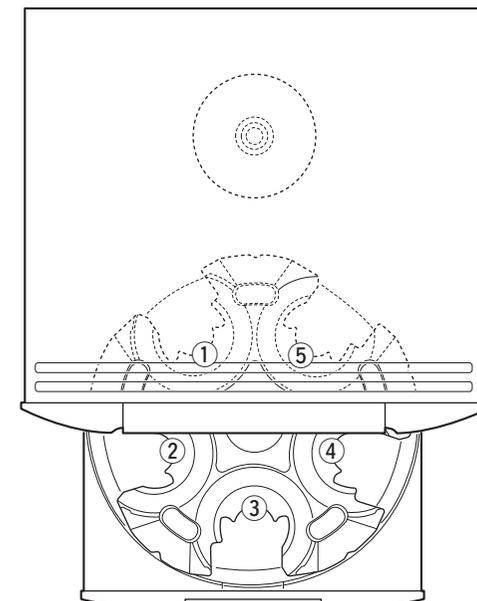
本機またはリモコンの **■** ボタンを押すと、再生が停止します。

再生中にディスクを交換する

本機は再生中に、再生していないディスクを交換することができます。



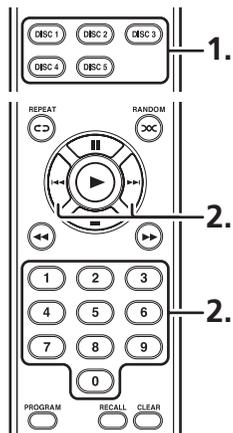
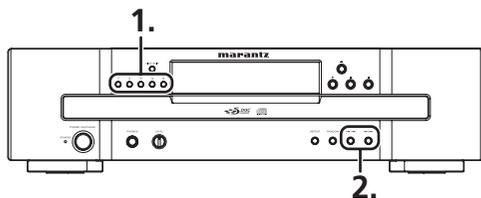
- ディスク1を再生中の場合、**▲** ボタンを押してトレイを出し、ディスク2、3、4をそのまま交換することができます。また、ディスク5を交換する場合、本機の **DISC SKIP** ボタンまたはリモコンの **DISC ▲**、**▼** ボタンを押して、トレイ内のターンテーブルを回転させてから交換してください。
- ディスクを交換したあとは、必ず **▲** ボタンを押して、ディスクトレイを戻してください。



- ①…ディスク1トレイ
- ②…ディスク2トレイ
- ③…ディスク3トレイ
- ④…ディスク4トレイ
- ⑤…ディスク5トレイ

基本操作

聴きたい曲を再生する

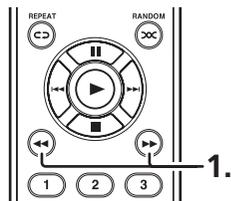
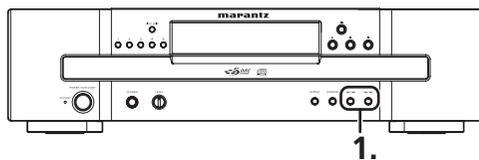


1. 本機またはリモコンのDISC1-5ボタンを押して、聴きたい曲が入っているディスクを選びます。
 - このとき、選んだディスクの1曲目が再生されます。
2. 本機の◀◀/◀▶/▶▶/▶▶▶▶ボタン、リモコンの◀◀、▶▶▶▶ボタンまたはリモコンの0~9ボタンを押して、目的の曲番を選びます。

(例)

- 9曲目を選ぶとき： 9を押します。
- 23曲目を選ぶとき： 2を押してから1秒以内に3を押します。
- 123曲目を選ぶとき： 1を押してから1秒以内に2を押し、さらに1秒以内に3を押します。

聴きたい部分を再生する



1. 再生中に、リモコンの◀◀、▶▶▶▶ボタンまたは本機の◀◀◀◀/◀◀▶▶▶▶/▶▶▶▶▶▶ボタンを押し続け、聴きたい部分を探します。
2. 聴きたい部分が見つかったらボタンから指を離してください。

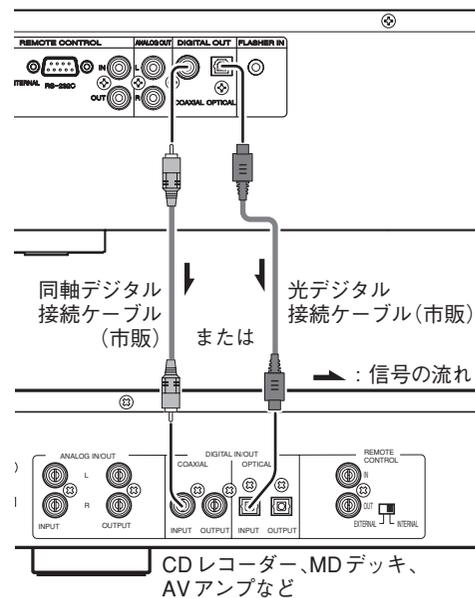
応用接続

デジタルオーディオ機器との接続

本機はデジタル出力端子をOPTICAL(光)・COAXIAL(同軸)各1系統装備しています。本機とCDレコーダーなどのデジタル録音機器を接続すると、デジタル録音がお楽しみ頂けます。

OPTICAL(光) / COAXIAL(同軸)出力端子を接続する

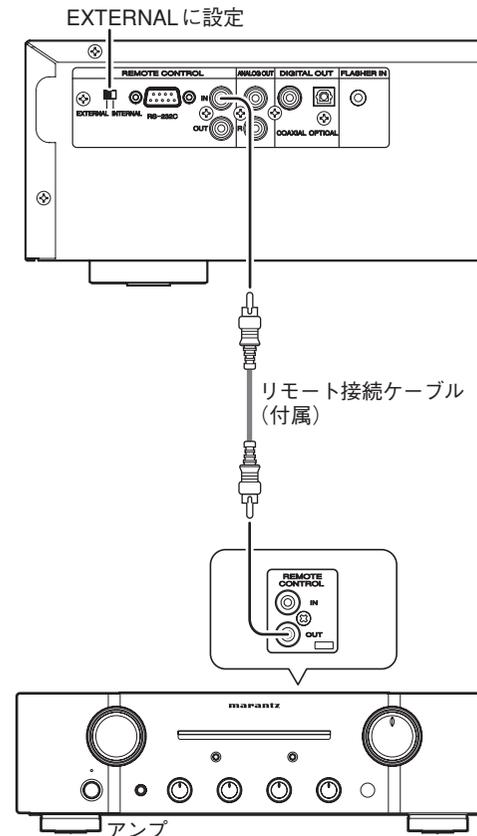
市販の光 / 同軸デジタル接続ケーブルを使用します。光デジタル接続ケーブルプラグはカチッと音がするまで確実に差し込んでください。また、光デジタル接続ケーブルは折り曲げたり、束ねたりしないでください。



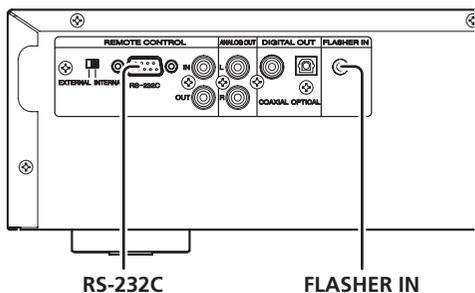
リモートコントロール端子

付属のリモートコントロールケーブルを使って、本機を他のマランツ製オーディオ機器に接続すると、システムとして接続した機器をリモートコントロールできます。

- リモートセンサーを搭載している機器と接続するとき、本機の“REMOTE CONTROL IN”と接続する機器の“REMOTE CONTROL OUT”端子を接続してください。このとき、本機のスイッチを“EXTERNAL”に設定してください。本機のリモコン赤外線受光部が動作しなくなり、接続した機器のリモコン赤外線受光部を通して操作することができます。



その他の接続

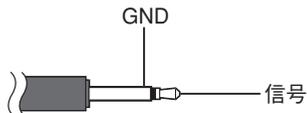


■ RS232C

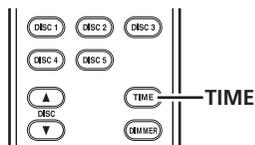
外部コントロール機器と接続します。(接続の際はストレートケーブルを用います。また、メンテナンス用にも用います。)

■ FLASHER IN

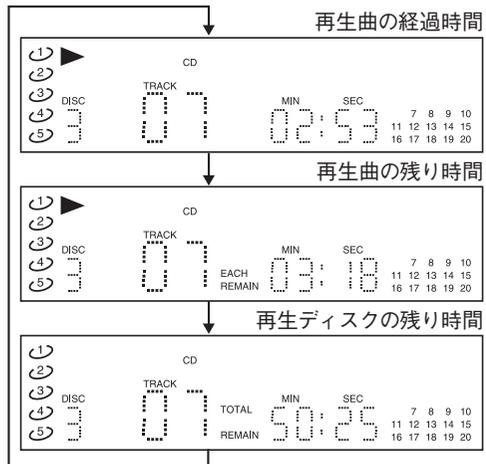
コントロールBOX等を接続することにより本機をコントロールできます。



時間表示を切り替える



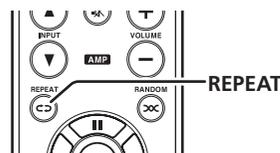
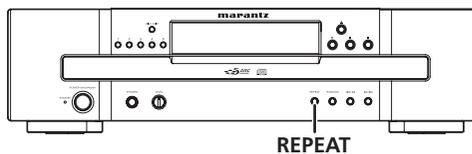
リモコンの **TIME** ボタンを押すたびに、時間表示が以下のように切り替わります。



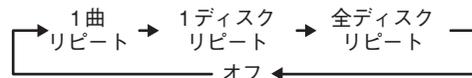
- MP3、WMAファイル再生時は再生ディスクの残り時間の表示はできません。
- 全ディスクランダム再生中、再生ディスクの残り時間は表示されせん。
- 選択中のディスクの曲のみをプログラムした場合、プログラムの残り時間が表示されます。(MP3、WMAのディスクは除きます)
- プログラムされた曲の合計時間が“99分 59秒”を超えた場合、プログラムの残り時間は“-: -”と表示されます。

繰り返し聴く(リピート再生)

リピート再生とは、自動的に繰り返し再生をする機能です。

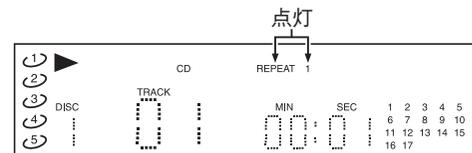


本機またはリモコンの **REPEAT** ボタンを押すたびに、リピートモードは以下のように変わります。



■ 1曲リピート再生をする

選択中の曲を繰り返し再生します。

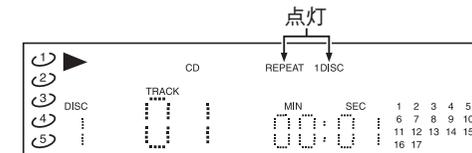


リピートさせたい曲を選んだあと、本機またはリモコンの **REPEAT** ボタンを 1 回押すと、選んだ曲が繰り返し再生されます。

- このとき、“REPEAT 1”が点灯します。

■ 1ディスクリピート再生をする

選択中のディスクを繰り返し再生します。

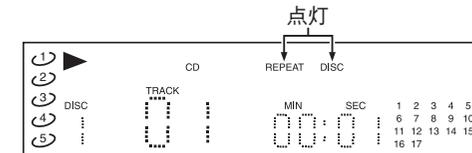


目的のディスクを選んだあと、本機またはリモコンの **REPEAT** ボタンを 2 回押すと、選んだディスクの曲が順に繰り返し再生されます。

- このとき、“REPEAT 1 DISC”が点灯します。

■ 全ディスクリピート再生をする

ディスクトレイに入っている全ディスクを繰り返し再生します。



本機またはリモコンの **REPEAT** ボタンを 3 回押すと、全ディスクが繰り返し再生されます。

- このとき、“REPEAT DISC”が点灯します。

■ リピート再生をやめる

“REPEAT”表示が消えるまで本機またはリモコンの **REPEAT** ボタンを数回押してください。

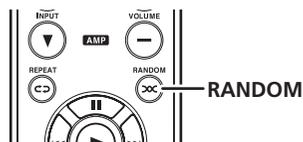
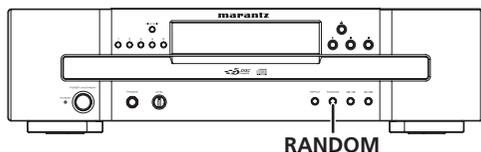
ご注意

停止中に **▲** ボタンを押してトレイを開けるとリピート設定は解除されます。

応用操作

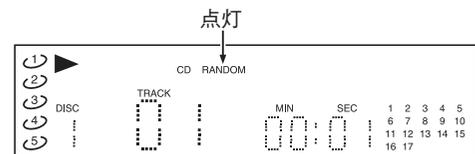
順不同で曲を再生する(ランダム再生)

ランダム再生とは、曲を順不同に再生する機能です。



■ 1 ディスクランダム再生をする

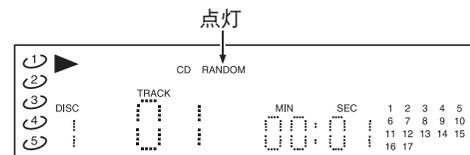
選択中のディスクのみをランダム再生します。



1. 本機またはリモコンの **RANDOM** ボタンを押します。
このとき **"RANDOM"** 表示が点灯します。
2. 本機またはリモコンの **DISC 1-5** ボタンを押して再生したいディスクを選択します。
本機またはリモコンの **▶** ボタンを押します。
選択中のディスクの中から1曲をランダムに選び、再生します。

■ 全ディスクランダム再生をする

ディスクトレイに入っている全ディスクをランダム再生します。



1. 本機またはリモコンの **RANDOM** ボタンを押します。
このとき、**"RANDOM"** 表示が点灯します。
2. 本機またはリモコンの **▶** ボタンを押します。
全ディスクの中から1曲をランダムに選び再生します。
曲の再生が終わると、選んだ曲以外の全ディスクの中から1曲をランダムに選び再生します。

■ ランダム再生をやめる

ランダム再生設定中に、本機またはリモコンの **RANDOM** ボタンを押します。

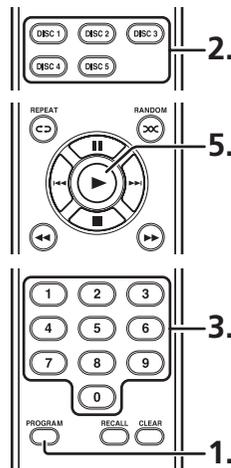
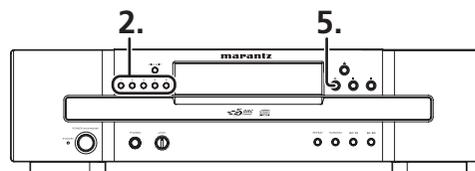
- このとき、**"RANDOM"** 表示が消え、ランダム再生は解除されます。

ご注意

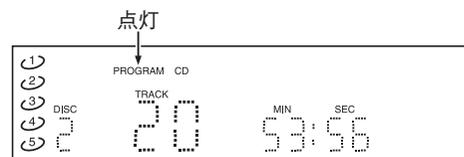
- プログラム再生中に **RANDOM** ボタンを押すとプログラムされた曲を順不同に再生します。
- ランダム再生中に **▲** ボタンを押してディスクトレイを出すとランダム再生は解除されます。
- 再生中にトレイを開けている状態ではランダム設定はできません。

曲を好きな順番で聴く(プログラム再生)

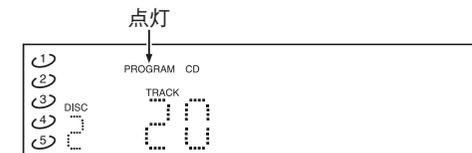
聴きたい曲またはディスクを選び、順にプログラムして再生することができます。
プログラム再生は50個まで登録することができます。



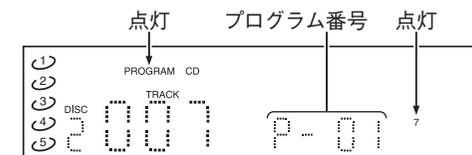
1. 停止中に、リモコンの **PROGRAM** ボタンを押して、プログラムモードに切り替えます。
このとき、**"PROGRAM"** が点灯します。



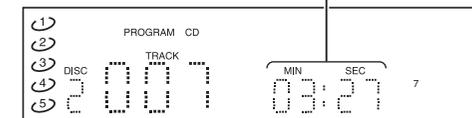
2. 本機またはリモコンの **DISC 1-5** ボタンを押して、登録したい曲が入っている曲のディスクを選びます。
ここではディスク2を選びます。(総トラック20)



3. リモコンの数字ボタンを押して、目的の曲番を選びます。
ここでは7曲目を選びます。
このとき、選ばれた曲番が点灯します。



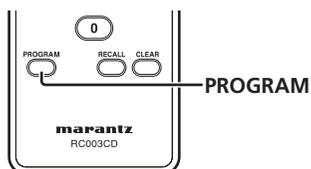
プログラムされた曲の総演奏時間



- 複数のディスクに渡ってプログラムした場合、合計時間は "--:--" と表示されます。
- プログラムされた曲の合計時間が99分59秒を超えた場合、"--:--" と表示されます。
- MP3、WMAのディスクをプログラムした場合、合計時間は "--:--" と表示されます。

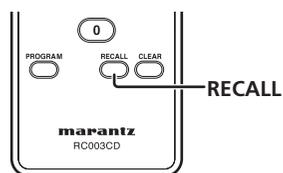
4. 複数の曲をプログラムするときは、手順 2.、3.を繰り返して聴きたい曲番を全てプログラムしてください。
5. リモコンまたは本機の▶ボタンを押して、プログラム再生を開始します。

■ 通常再生に戻る



プログラム再生中に通常の再生に戻りたいとき、**PROGRAM** ボタンを押します。このとき、“PROGRAM”表示が消え、再生中の曲から通常再生します。

■ プログラム内容の確認

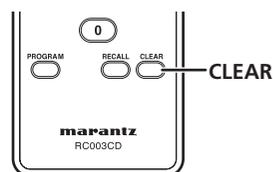


プログラムモードで(“PROGRAM”表示が点灯している状態)リモコンの**RECALL**ボタンを押します。

- **RECALL**ボタンを押すごとに、プログラムされた曲番が順に表示されます。

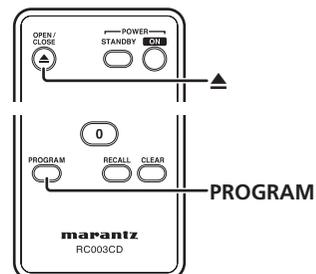
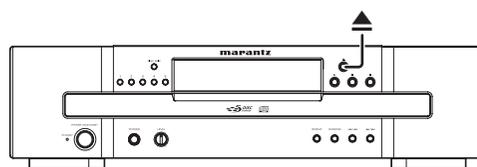
■ プログラム曲の消去

1曲ずつ消去する



プログラムモードの状態、リモコンの**CLEAR**ボタンを押すと、プログラム曲番の最後から1曲ずつ消去されます。

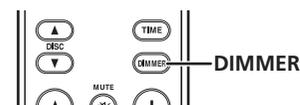
プログラムを全て消去する



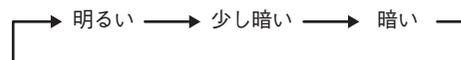
プログラムモードの状態、本機またはリモコンの**PROGRAM**ボタンを押し、PROGRAM表示を消灯させると、プログラムは全て消去されます。また、▲ボタンを押して、ディスクトレイを出すと、プログラムは全て消去されます。

- 本機がスタンバイ、電源オフ状態になるとプログラムは全て消去されます。

表示窓の明るさ調整



リモコンの**DIMMER**ボタンを押すたびに、表示窓の明るさは以下のように変わります。

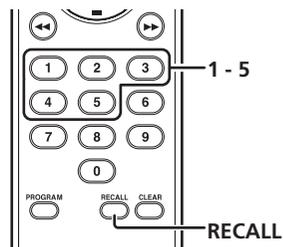


応用操作

リモコンコード設定

- 本機と付属のリモコンにはそれぞれ5組のリモコンコードが内蔵されています。これにより、CC4003を最大5台まで同じ場所に各々独立してコントロールすることができます。
- 本機を複数台、同時使用する場合は、2台目、3台目、4台目、5台目のCC4003とそのリモコンのリモコンコードの設定をおこないます。
- 設定は以下の手順でおこない、選択した機器だけをリモコンでコントロールできるようになります。
- 工場出荷時は、本機とリモコンはCODE 1に設定されています。

■ リモコンの設定



• CODE2 に設定したいとき

リモコンの **RECALL** ボタンと数字ボタンの **2** を同時に5秒以上押します。

• CODE3 に設定したいとき

リモコンの **RECALL** ボタンと数字ボタンの **3** を同時に5秒以上押します。

• CODE4 に設定したいとき

リモコンの **RECALL** ボタンと数字ボタンの **4** を同時に5秒以上押します。

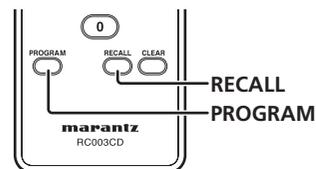
• CODE5 に設定したいとき

リモコンの **RECALL** ボタンと数字ボタンの **5** を同時に5秒以上押します。

ご注意

リモコンをCODE 1に戻すには、リモコンの **RECALL** と数字ボタンの **1** を同時に5秒以上押します。

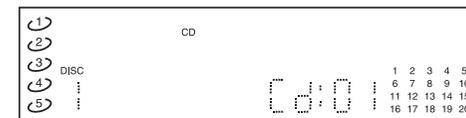
■ CC4003 の設定



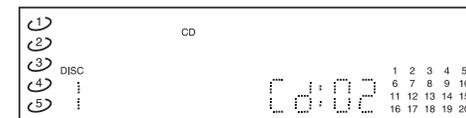
- CC4003のリモコンコード設定をリモコンと同じ設定にするには、リモコンを本機に向けながら **PROGRAM** ボタンと **RECALL** ボタンを一緒に押します。
- 設定されたリモコンコードが本機の表示窓に5秒間表示され、設定は完了します。

表示例

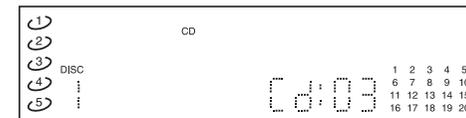
• リモコンがCODE1に設定されているとき



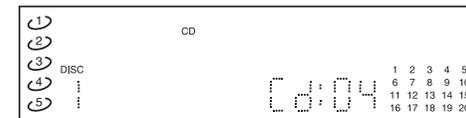
• リモコンがCODE2に設定されているとき



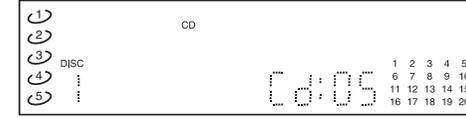
• リモコンがCODE3に設定されているとき



• リモコンがCODE4に設定されているとき



• リモコンがCODE5に設定されているとき



困ったときは

本機が正しく動作しない場合は、下記の表に示す項目をご確認ください。

下記の項目を確認しても直らない場合は、直ちに電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ頂いた販売店、当社のお客様相談センターまたはサービスセンターにご相談ください。

全般

現象	原因	処置	参照ページ
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていない。	電源コードを本体にしっかり差し込んでください。	6
		電源プラグをコンセントへしっかり差し込んでください。	6
音が出ない。 または、歪む。	出力ケーブルがしっかり接続されていない。	出力ケーブルを本機およびアンプにしっかり差し込んでください。	6
	本機のアナログ出力がアンプの PHONO 入力端子に接続されている。	アンプの PHONO 入力端子には接続しないでください。	6
	アンプの操作が間違っている。	アンプの入力切替、音量調節およびスピーカーの設定を確認してください。	6
	本機の再生が一時停止になっている。	再生ボタンを押してください。	7
ヘッドホンをつないでも音が出ない。 または、歪む。	ヘッドホンプラグがしっかり接続されていない。	ヘッドホンプラグを本機にしっかり差し込んでください。	4
	ヘッドホンレベルが最小になっている。	ヘッドホンレベルを調整してください。	4
デジタル音声が出力されない。	デジタル接続ケーブルがしっかり接続されていない。	デジタル接続ケーブルをしっかりと差し込んでください。	8
リモコンで本機の操作ができない	電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。	3
	リモコンの動作範囲から外れている。	リモコンの動作範囲を参照して、動作範囲でご使用ください。	3
	本機とリモコンの間に障害物がある。	障害物を取り除いてください。	3
	本機の受光部に強い光が当たっている。	受光部に強い光が当たらないようにしてください。	3
	後面の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを EXTERNAL に設定している。	EXTERNAL/INTERNAL スイッチを INTERNAL に設定してください。	6

ディスクの再生

現象	原因	処置	参照ページ
ディスクを入れても再生できない。	ディスクがトレイの正しい位置に入っていない。	ディスクを正しくのせてください。	7
	ディスクが裏表さかさまに入っている。(ディスクの印刷面が下になっている)	ディスクの印刷面を上にしてトレイにのせてください。	7
	ディスクが汚れている。	ディスクの表面をきれいにしてください。	16
	ディスクに傷がついている。	傷が多いディスクの場合、再生できないことがあります。	16
	ディスクが反っている。	ひどく反ったディスクの場合、再生できないことがあります。	16
	本機が対応していないディスクを再生しようとしている。	本機が対応しているディスクを使用してください。	14
	本機内部のレンズが結露している。	本機の電源を入れて 30 分位待ってから使用してください。	2
CD-R/CD-RW ディスクが再生できない。	ディスクのファイナライズがされていない。	ディスクに書き込むためのソフトウェアを使って、ファイナライズしてください。	14
	記録されている情報が音楽用(CD-DA)フォーマットではない。または MP3/WMA ファイルが正しく記録されていない。	本機に対応した正しい情報を記録してください。	14

その他

WMA の再生について

- Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media® Player Ver.7.7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、またはWindows Media® Player 9Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- DRM コピープロテクトのかかったWMAファイルは再生できません。
- WMAファイルは、米国Microsoft Corporationの認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

Windows Media DRM について

Windows Media デジタル著作権管理 (DRM)(以下、WMDRM)は、コンピューター、デジタルオーディオプレーヤー、ネットワーク機器などの再生を防いだり、デジタルコンテンツを安全に配信するためのプラットフォームです。

WMDRM で保護されたコンテンツはWMDRMの機能を有するメディアサーバーと接続したときのみ再生できます。

本機はWMDRMで保護されたコンテンツに対応していません。

WMA ファイル

規格	Microsoft Windows Media Audio 9.2 準拠 以下は対応外 • WMA9 シリーズ Professional • WMA9 シリーズ Voice • WMA9 シリーズ Lossless • Video 有り WMA
拡張子	.wma
ビットレート [kbps]	48 ~ 192
サンプリング周波数 [kHz]	32/44.1/48
チャンネル	2ch (Stereo)

MP3 の再生について

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット(Joliet)に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 可変ビットレートファイルの再生時には、正しく時間表示されないことがあります。
- 音質的には、記録ビットレート 128kbps以上をお勧めします。

MP3 ファイル

【ディスクメディア】

規格	MPEG-1 Audio Layer3
拡張子	.mp3
ビットレート [kbps]	MPEG-1 Audio Layer3 の場合 32 ~ 320
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG-1 Audio Layer3 の場合 32/44.1/48
チャンネル	2ch (Stereo)
エンファシス	OFF

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機では従来のオーディオ CD や CD-R (Recordable) に加え、CD-RW (ReWritable) ディスクの再生も可能です。

- CD-RやCD-RWの再生では必ずTOC*が正しく記録されていることが必要です。CDレコーダーでは TOC情報を書き込むことをファイナライズ(Finalize)といい、この作業が正常に完了していないディスクは、普通のCDプレーヤーやスーパーオーディオ CDプレーヤーではオーディオ CDとして正しく認識されず再生することができませんので十分ご注意ください。詳しくはCDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

* TOC(トック)とは Table Of Contentsの略で、ディスクの総曲数や総演奏時間などの目次情報のことです。

- 本機は音楽 CDフォーマット、WMA/MP3の音楽データが記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。
- CD-RWディスクを再生する場合、プレーヤーの設定を一部変更するため、オーディオ CDやCD-Rに比べ TOCの読み込みに若干時間がかかることがあります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。)
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ミックス・モードCD/エンハンスドCDやDTS CDディスクを再生することはできません。

コピーコントロール CD (コピーガード付き CD) について

コピーコントロール CD (コピーガード付き CD) は、現在の CD 規格に準拠していない特殊なディスクであり、当社としましては、お客様の CD 再生機器による再生の状態を保証いたしかねます。通常 CD を用いての再生時には支障なく再生ができ、これらの特殊ディスク再生時においてのみ支障をきたす場合につきましてはお客様の CD 再生機器の不具合ではございません。なお、コピーコントロール CD に関する詳細につきましてはコピーコントロール CD の発売元にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

DualDisc の再生について

- “DualDisc”は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- “DualDisc”の仕様や規格などの詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

仕様

■ オーディオ特性

チャンネル.....	2チャンネル
周波数特性.....	2 Hz~20 kHz
ダイナミックレンジ.....	100 dB
S/N比(A-Weighted).....	110 dB
チャンネルセパレーション(1 kHz).....	110 dB
高調波歪率(1 kHz).....	0.002 %
ワウフラッター.....	水晶精度
音声出力.....	2 V RMSステレオ
ヘッドホン出力(可変最大).....	16 mW/32 Ω
デジタル出力	
同軸出力(ピンジャック).....	0.5 Vp-p, 75 Ω
光出力(角型光コネクタ).....	-19 dBm

■ 光学読み取り方式

レーザー.....	AlGaAs 半導体
波長.....	780 nm

■ 信号方式

サンプリング周波数.....	44.1 kHz
量子化対応.....	16ビット・リニアPCM

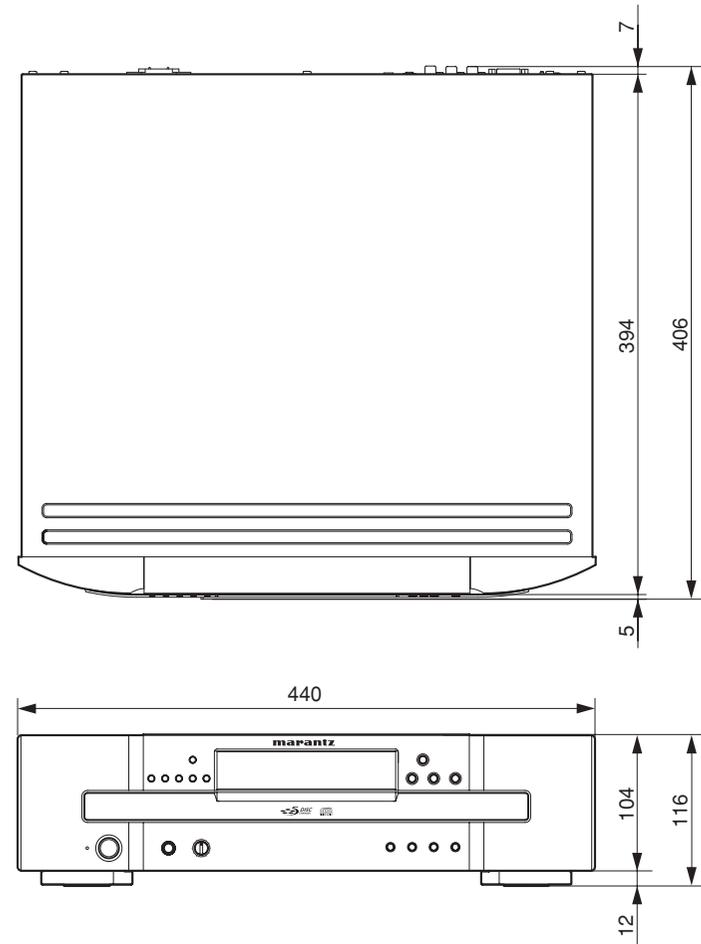
■ 電源部

電源.....	AC 100V 50/60Hz
消費電力(電気用品安全法).....	18 W
待機消費電力.....	0.6 W

本機の規格および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

外観寸法図

(単位：mm)



質量：7.0 kg

CLASS 1 LASER PRODUCT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASERAPPARAT

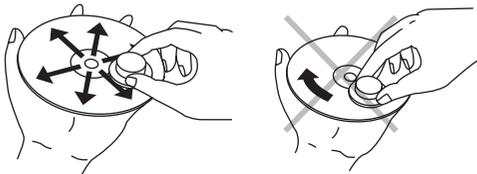
その他

ディスクの取り扱い方

* ディスクの記録面に傷をつけないよう大切に扱ってください。

* ディスクの記録面はいつもきれいに

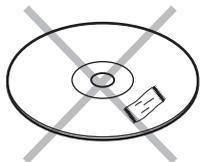
ディスクの記録面をふくときは必ず専用のクリーナーを使用して図のようにふいてください。



- 放射状方向にふいてください。
- 円周方向には、ふかないでください。

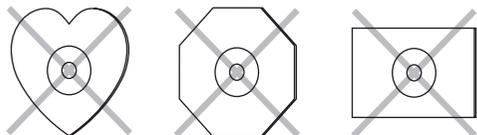
* ディスクのレーベル面に紙やシールを貼らないでください。

ディスクにセロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



* 特殊な形のディスクは使用しないでください。

ハート型、八角形、名刺型など特殊形状のディスクは使用しないでください。取り出せなくなったり、機器の故障の原因となる場合があります。



* ディスクレーベル面にDISCマークの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。

CD 規格外ディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。

* ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 窓ぎわで雨などがかかる恐れのある場所

* ディスクはケースに入れて正しく保管しましょう。

お手入れ

- セットが汚れたときはやわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れを拭き取ったあと、乾いた布でからぶきしてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると塗装がはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと変質したり、塗料がはげたりすることがありますのでご注意ください。

セット内部の修理

- 注油しますと故障の原因になりますので避けてください。
- 専門知識を持つ技術者以外の方は、ピックアップ部分およびセット内部の修理はおこなわないでください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(思いやり)を十分にいたしましょう。

ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽観賞には特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



ヘッドホンのご使用について

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

著作権について

- 放送や、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カセット、オーディオCDなど)、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。
- 使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせください。

保証・アフターサービスについて

- この商品には保証書を別途添付してあります。保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取り頂き、よくお読みの上、大切に保存してください。
- 本体の保証期間はご購入日より1年間です。ご購入後販売店または弊社営業所で保証記載事項に基づき「無料修理」いたします。
- 保証期間経過後の修理について。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
- 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、ご購入後販売店または当社サービスセンターに遠慮なくご相談ください。
- 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度“困ったときは”をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入後販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。

ご連絡頂きたい内容

- 品名 **5 ディスクCD チェンジャー**
- 品番 **CC4003**
- シリアルナンバー(製造番号)
- ご購入日 年 月 日
- 故障の状況(できるだけ具体的に)
- ご住所
- お名前
- 電話番号

marantz®

お客様ご相談センター

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9:30 - 12:00 13:00 - 17:00

(土 日 祝日 当社休日を除く)

修理に関しましては添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

株式会社 **マランツ** コンシューマー マーケティング

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

<http://www.marantz.jp>

